

# 世界のソーシャル・カレンダー

[ 2015年夏 7月~9月 ]

文/中野香織

トマ・ピケティの著作『21世紀の資本』で知られるようになった“超富裕階級(ブルトクラシー)”の存在。彼らは国籍に関係なく超富裕層という共通の行動様式を有し、集まるころには華やかな社交やビジネスチャンスが…。ブルトクラシーによる今の時代のリアルな社交は、世界のどこで繰り広げられているのでしょうか。

Text: KAORI NAKANO Realization: KAZUHIRO NONAKA

## Calendar of Social Events

### 今月の参加すべきソーシャル・イベント

### July 7月のイベント

- ウィンブルドン選手権 / 6月29日~7月12日 ロンドン郊外のウィンブルドンで開催される、テニスの世界4大大会のひとつ。  
<http://www.wimbledon.com/>
- パリ・オートクチュール / 7月5日~10日 一足先に出かけたヴァカンス先から、ショーのため一時パリに戻る顧客のマダムも多数。  
<http://www.modeaparis.com/>
- モナコ赤十字ガラ・ローズボール / 7月25日  
<http://jp.montecarlosbm.com/luxury-trip-monaco/events/monakosekijuyujigara-rozoboru/>



(右) バイロイト歌劇場。  
(左) 昨年のザルツブルクで話題の「イル・トロヴァトーレ」。今夏もレオノーラはネトレブコが。

### August 8月のイベント

- ザルツブルク音楽祭 / 7月18日~8月30日 世界で最もハイレベル、かつ規模も最大級の音楽祭のひとつ。毎年年末に翌年の演目を発表。  
<http://www.salzburgerfestspiele.at/summer>
- バイロイト音楽祭 / 7月25日~8月28日 南ドイツのバイロイトで催されるワグナーのオペラを演目とする音楽祭。ワグネリアンの聖地。  
<http://www.festspiele-bayreuth.de/>
- ニューポート・バケットレガッタ / 8月27日~30日 米ロードアイランド州ニューポートで催される、長さ90フィート以上のメガヨットのレース。  
<http://www.bucketregattas.com/>



(右) ローズボールでのモナコ大公夫妻。(左) 昨年のウィンブルドン男子シングルス決勝でのウィリアム王子夫妻。

### September 9月のイベント

- 全米オープン(テニス) / 8月31日~9月13日 N.Y.郊外フラッシングメドウで行われる。観客動員数や賞金総額はテニス競技大会で最大。  
<http://www.usopen.org/>
- ヴェネツィア国際映画祭 / 9月2日~12日 カナヌ、ベルリンと並ぶ世界3大映画祭のひとつで、世界最古の歴史をもつ映画祭。  
<http://www.labiennale.org/en/>
- メトロポリタンオペラ・オープニングナイト・ガラ / 9月21日 今シーズンの幕開けはヴェルディの「オテロ」で。新プロダクションのプレミア。  
<http://www.metopera.org/>



(右) 昨年の第71回ヴェネツィア映画祭。(左) U.S.オープンのセンターコート・アーサー・アッシュ・スタジアム。

### Words 今月のキーワード解説

- サルデーニャ島 / シチリア島に次いで大きなイタリアの島。先史時代からの歴史を有し、独特の文化や言語をもつ素朴な島だが夏の一時だけ、世界中からジェットセッターたちが集う特別なリゾートとなる。
- カラ・ディ・ヴォルベ / サルデーニャ島の北東部ポルトチェルヴォにある超高級リゾートホテル。4月から10月までハイシーズンのみの季節営業。  
<http://www.starwoodhotels.com/luxury/>
- リッチスタン / 米国の経済紙記者による造語。資産100万ドル以上の超富裕層たちが集まる仮想国家の意味。そこに属するリッチスタンは既存の国家に依存しないなど、従来の富裕層とは異なる特徴を有するという。

Column 中野香織のビューポイント

### 上流階級のイギリス人がDandyと言ったら

本誌「英国紳士」特集でも語っているが、排他性の高いイギリス上流階級に属する人が語る言葉は、その裏の意図まで読み取るつもりでいたほうがいい。例えばその階級に属する英国人が、「彼はダンディ」と言うとき、そこにはほぼ軽蔑が混じる。そもそも、上流階級でなくとも現代イギリスにおいてこの語はあまり使われない。あえて使われるときにはほぼ言葉ではないと知るべき思えば、どの国であれ、ハイソサエティというのは、どこか特権意識におおわれ、閉鎖的な仲間価値

を共有し合うところがある。ゆえにやや開かれたパーティではいっそう本意は隠され、むしろまったく裏腹な言葉が飛び交うことになる。右ページに紹介したモームの短編のヒロインは、普段隠されているそんな上流人士の本音をひねりなく語るがゆえに、いっそう面白がられることになったのかもしれない。解釈は万華鏡だが、いずれにせよ、言葉の背後にある文脈と自分の立場を常に考えるのが、社交における基本的心構え。その習慣が、人生のほかの局面でも身を助ける。

Kaori Nakano

なかの・かおり ● エッセイスト、服飾史家。東京大学大学院修了、英国ケンブリッジ大学客員研究員を経て文筆家に。過去2000年分のファッション史から最新モード事情まで、幅広い視野から研究、執筆、レクチャーを行う。2008年より、明治大学 国際日本学部 特任教授を務めている。著書に「モードとエロスと資本」ほか多数。  
● 中野香織オフィシャルHP  
<http://www.kaori-nakano.com/>

# Social Diary of the Elite

### 一流のリゾートが 一流たる理由は社交の存在

リゾートシーズンが到来しました。フットワーク軽く移動するソーシャライต์もいれば、ほぼ一週間単位で滞在を替えながら社交を楽しむ人々もいます。

例えば、8月の第1週、カザフスタンの国王からF1オーナー、スーパーモデルや俳優などおおよそ300人の華やかな社交人士が、「サルデーニャ島(Worlds参照)に集結します。超高級宝石ブランド」ドゥグリスゴノ」の創始者、ファワズ・グルオジ氏の誕生パーティに出席するためです。ゲストの多くはホテル「カラ・ディ・ヴォルベ」(Worlds参照)に宿泊し、朝はゆっくと起きてテラスで朝食を取り、プールサイドか船のデッキで日焼けを楽しみ、午後は、パーティの数日前に発表されるドレスコードに合わせたショッピングのために街に繰り出します。7時になると最新のリゾートコレクションをまとってカクテルタイムを楽しみ、その後は、誰かのクルーザーの上、あるいはどこかのレストランでのダイナーへと向かいます。パ

ーティ前後の数日間をそのように過ごすことができるリッチな人たちが創り出す雰囲気こそが夏のサルデーニャの命なので、「カラ・ディ・ヴォルベ」はこの時期、高騰します。パーティが終わる、ソサエティが民族大移動のように次の滞在地へと移動してしまおうと、このホテルの価格もぐつと下がりますが、そんなオフシーズンに出かけても、やや老朽化している普通のホテルが待っているだけ。ふと隣を見るとリラックスしたジョージ・クルーニーがいて挨拶を交わすことができ、一人でふらりとレストランに入っても誰かしら知り合いがいて予想外の楽しいランチになる、というようなサルデーニャリゾートのエモーショナルな空気を満喫するためには、やはり「人」が集まる第1週でなくてはならないのです。そのようなインサイダーならではの情報を教えてくれたのは、VIP向けトラベルエージェンツの経験が豊富で、声楽家としても活躍するソーシャライต์、せいあ・リーさんです。せいあさんによれば、民族大移動のようにリゾートからリゾートへと旅していく社交人士に伴い、彼らの好みを知り尽くすパー

ティ前後の数日間をそのように至るまで、スタッフもまた移動していくとのこと。どこに行っても顔見知りの同じスタッフが尽くしてくれるとなれば、宝石をつけているときの安心感も違います。リゾートといえば「何もしない贅沢」という言葉を連想しがちですが、リッチスタン人(Worlds参照)は、世界のどこへ行くこと、ショッピング、ファッション、ダイナーにパーティ、夜遊びという同じようなアクティビティをリゾートライフを送りまわす。場所を替えながらの同質人々と社交のなかで、世界情勢を肌で感じ取っていくと共に、対面しか交換できないさまざまな貴重な情報を交換し合っているわけです。

### 閉鎖的な社会が求める 新参者という刺激

そのようにやや閉鎖的であることが快感であるようなソサエティにおいても、常に新参者が新鮮な息吹を吹き込むことも歓迎されます。せいあさんによれば、その際、歓迎される新参者には共通点があつて、ファニーであること、意見があること、そしてほかの人とは違う個性があること。退屈は敵。黙ってニコニコしているだけで二度とお声はかからないのです。それにしても、ファニーであるとはどういうことでしょうか。思い出したのは、サマセット・モームの短編「ジェーン」(「モーム短編選(上)」岩波書店)でした。ヒロインのジェーン・ファウラーは、アラフィフの、一見もつさりとした田舎くさい女性なのですが、27歳年下ながら彼女を崇拜する男性に求婚され、外見をユニークに一新するとなつちまち社交界の中心人物となり、そうするうちにさらにモチまわって、ついには年下夫を捨てて提督の妻となる……という興味深い女性なのです。彼女が面白がられ、大人気を獲得するその秘密はといえば、「真実を言う」こと。「真実」というのはとても珍しいので、それで皆さんは面白いと思つたのね」。

# Social Diary of the Elite